

旭川大学の公立化に関する有識者懇談会報告書（案）について

報告書案の概要

- 1 はじめに
 - ・有識者懇談会を開催することとなった経過等を記載
- 2 本市における公立大学検討の経過
 - ・平成25年度からの経過を記載
- 3 公立大学の設置検討に当たっての大学等に関する状況
 - ・第1回目の懇談会で提示した資料を基に、次の内容を記載～大学全体の状況（設置数、学生数、大学進学率等）、中核市における大学等の設置状況、公立大学の状況（設置数、学生数、学部種類、教職員）、私立大学から公立大学に移行した大学の事例、北海道における高校卒業者の進学状況、旭川市の状況（大学等進学者、10歳から29歳までの人口流出、産業構造、雇用動向）
- 4 学校法人旭川大学の現状
 - ・第1回目の懇談会で提示した資料を基に、次の内容を記載～法人組織、建学の理念等、旭川大学及び同大学短期大学部の状況（学生数、定員充足率、教員数）、財務状況
- 5 学校法人旭川大学からの回答書の概要
 - ・平成29年4月6日（文書は平成29年3月31日付け）に学校法人旭川大学から提出された4条件（法人分離、予定されている耐震化、学部・学科の見直し、ものづくり系学部等の新設）に対する回答の概要を記載
- 6 旭川大学及び同短期大学部の公立化移行に係る経営シミュレーション
 - ・回答書の内容を踏まえ、現在の旭川大学及び同短期大学部にある学部・学科をベースにして公立化した場合の経営シミュレーション内容を記載
～定員充足率100%、90%、80%の3パターン

- 7 学校法人旭川大学からの回答書を踏まえた意見聴取の状況
 - ・第3回目から第6回目までの懇談会における意見聴取経過について、旭川大学に示した4つの条件に関する意見とそれ以外の意見とに分けて記載
 - ・4つの条件以外としては、公立大学の理念、全体の学部構成、旭川大学に求める取組に関する意見があり、それぞれ項目に分けて記載
※第6回は平成30年1月26日開催予定のため、報告書案には第6回目の配付資料内容を暫定で記載する。
- 8 市民アンケート等の結果概要
 - ・市民アンケート、市内全日制高校に通学する高校2年生アンケート、高校の進路指導担当教員アンケートの結果概要を記載
※各種アンケート結果の詳細は別冊資料として掲載予定
- 9 今後の検討についての方向性
 - ・懇談会での意見聴取結果や各種アンケート結果なども踏まえて、公立大学の理念、公立大学における学部像及び大学の運営に関する考え方を整理して記載
 - ・今後の対応として、報告書の内容を学校法人旭川大学に対して説明し、学部・学科の見直しなどに関する対応について回答を求める旨、また、ものづくり系学部等については、市民の会、旭川大学及び市の3者で協議を進める旨記載

資料編

- ・懇談会開催要綱、有識者名簿、懇談会開催経過、市民の会からの要望書、学校法人旭川大学からの要望書及び回答書、旭川大学の現状に関する資料、私立大学から公立大学への移行事例に関する資料

※各種アンケート結果は別冊資料として添付予定